

はは歯クラブだより



医療法人

ゆきなり小児・矯正歯科

こんにちは！

NO.15

今回は、『永久歯への生えかわり』について少しお話しします。

まずは、いつどこから生えかわるかについてです。

最初に生えかわるのは、『5歳頃に、下の前歯』からです。赤ちゃんの時に乳歯が生える時期に個人差があるように、生えかわりの時期も、『個人差』がかなりあります。

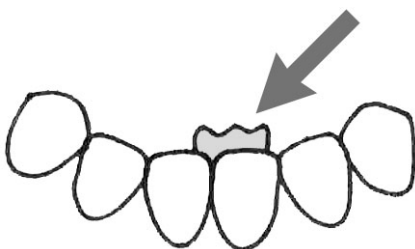
ですので、年中さんで生えかわっている子もいれば、1年生になっても生えかわらない子など、いろいろです。

気になるようでしたら、歯科医院でレントゲンを撮ると、永久歯がどこまで来ているかわかります。



次に、下の前歯が生えかわる時に、よくある症例についてです。

新しく生えた永久歯



乳歯が自然に抜けるときは、真下から永久歯がきて、乳歯の根っこがきれいに溶け、グラグラして抜けます。

しかし、永久歯の生えようとする方向が悪いと、乳歯の根っこがきれいに溶けず、永久歯が裏側から生えることがあります。

下の前歯では、このようなことが多く見られ、乳歯を抜く必要があります。裏側に生えた永久歯は、舌の力によって、少しずつですが前の方に並んでいきます。

(歯科衛生士 小林)

詳しくは、ホームページをご覧ください。

「ゆきなり」で検索すると簡単です。

次回は、院長が歯並びについてお話しします